

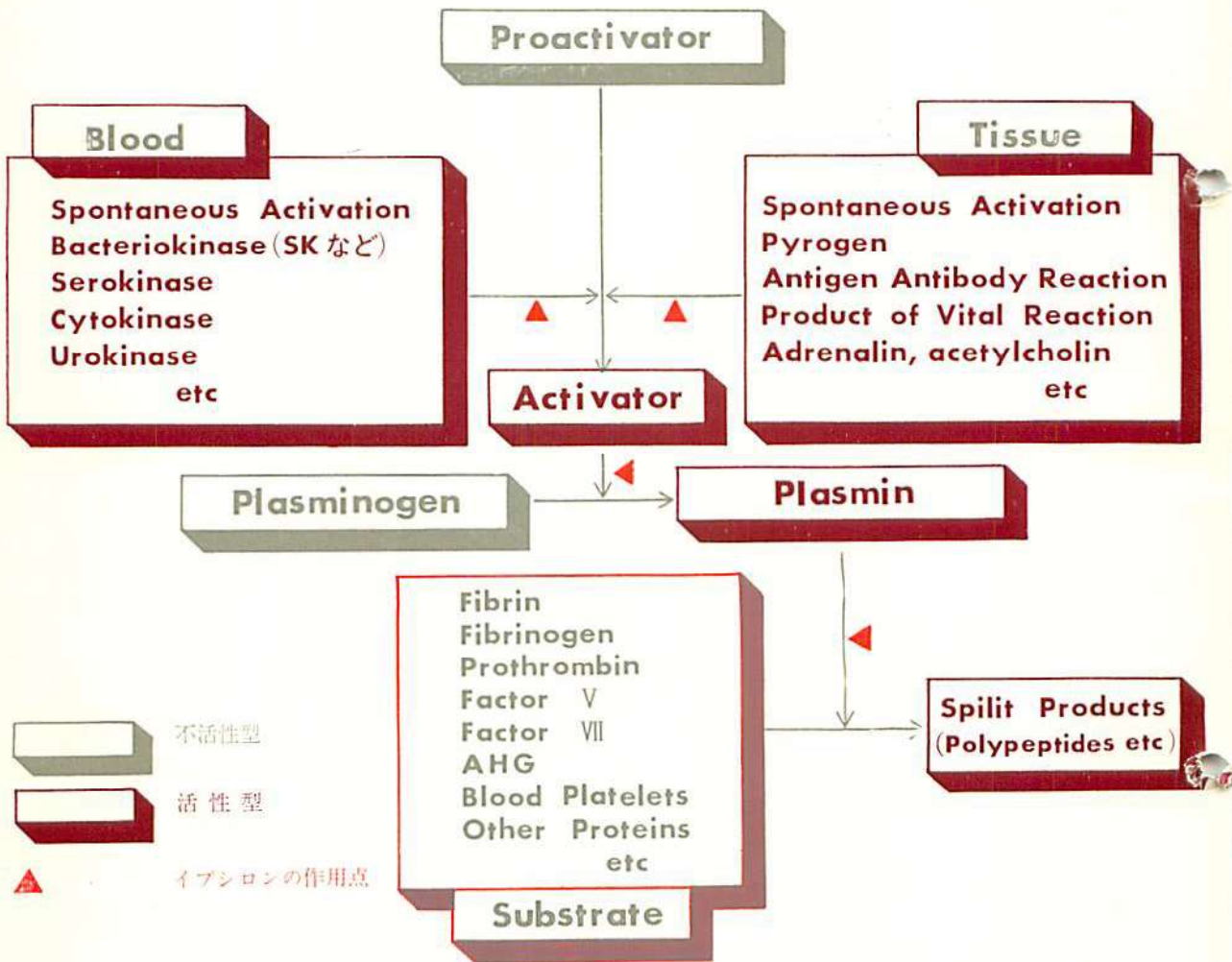


プラスミン測定法
文献集
1963



DAIICHI SEIYAKU CO., LTD.

線維素溶解酵素系の模式



この模式は次の文献を参考にして作成しました

- ① Astrup, T. : Blood 11. 781. (1956)
- ② 安部：線維素溶解現象 日本医師会雑誌 46. 8. 435. (1962)
- ③ 安部：線維素溶解現象測定法 Medical Digest No. 67. 1. (1963)
- ④ 黒田：前立腺腫瘍組織の線維素溶解系について、日本泌尿器科学会雑誌 53. 10. 735. (1962)
- ⑤ Lennart Anderson : Studies on Fibrinolysis in Urinary Tract. Disease and its Treatment with ε-ACA. Acta Chirurgica Scandinavica : Supplementum 301.
- ⑥ E. Szirmai, Stuttgart : Schema der Fibrinolyse Schweizerische Medizinische Wochenschrift Nr43 1371. (1962)

線維素溶解現象に関する研究は、最近めざましい進歩を示している。

線維素溶解系の異常亢進による出血傾向や炎症々状の発現、アナフィラキシーショックの問題などが抗プラスミン剤療法の普及と共に、臨床各科領域で注目を集めている。

一方、抗凝固剤療法や血栓、塞栓の溶解療法が問題になり、線維素溶解酵素系の検査は極めて重要な検査項目の一つとなりつつある。

線維素溶解酵素プラスミンの測定法は、種々の方法が考案されており、それらは、検索因子、手技、方法などにそれぞれの特徴を有している。

線維素溶解酵素系は、促進系、阻止系など極めて複雑な体系を有しているために、その測定法の確立、簡易化は今後の大きな研究課題である。

プラスミン測定法は、健康保険にも採用され、種々の疾患時の測定が認められており、本集が線維素溶解現象の研究者や臨床医家、臨床検査室の先生方の御参考になれば幸いである。

も く じ

線維素溶解現象測定法.....東 京 大 学 安 部 英 (1)

線維素溶解酵素系の測定方法.....弘 前 大 学 真 木 正 博 (12)

ヒト血清の Whole plasmin 値の測定法と

測定値の動揺範囲.....慶 応 大 学 岡 本 歌 子 (20)

線維素溶解酵素の新しい臨床測定法.....東 京 医 科 大 学 福 武 勝 博 (25)

付

止血機構検査法の実際大 阪 成 人 病 セ ン タ ー 神 前 五 郎 (31)

文献集の概要

線維素溶解現象測定法

東京大学 安部 英

線維素溶解現象の発現機序を三相に分類し、それらのなりたちを詳述した。その上に立って測定の際の基質および検体の作り方を説明し、種々の測定法の特徴を明らかにすると共に、個々の手技について詳説した。

線維素溶解酵素系の測定方法

弘前大学 真木 正博

線維素溶解現象の臨床的意義を解説した。ついで測定法を全血または血漿を用いる方法、Euglobulin 分層を用いる方法、Activator 測定法、Inhibitor 測定法の四種に分類し、その方法について詳述すると共にそれらの問題点にもふれた。

ヒト血清の Whole plasmin 値の測定法と測定値の動揺範囲

慶応大学 岡本 歌子

dynamic な性質をもつ Plasmin 系のなかで、病態生理学的な意義をもつと考えられる Whole plasmin 値 (plasminogen を活性化) の新測定法を考案した。本法を使用して正常人、疾患例 430 例について測定を行ない 7.5 分以内で溶解するものを促進例とすることにより臨床的応用に使用できるものであることを確認した。

線維素溶解酵素の新しい臨床的測定法

東京医科大学 福武 勝博

SK にてプラスミノゲンをプラスミンに活性化して、そこにプラスミン拮抗物質 ϵ -ACA を作用させて、この反応を阻止した時の総プラスミンを測定する方法を考案した。本法により ϵ -ACA の阻止濃度を求め臨床的投与量を推定することも可能である。

止血機構検査法の実際

大阪成人病センター 神前 五郎

手術前患者に対する検査事項として凝血時間、出血時間、毛細管脆弱性テスト、血小板数の測定法について実地に行なわれている検査法を中心に解説した。次に種々の出血性素因を持つ患者の検査については各種凝固因子、血小板機能を中心に詳述した。